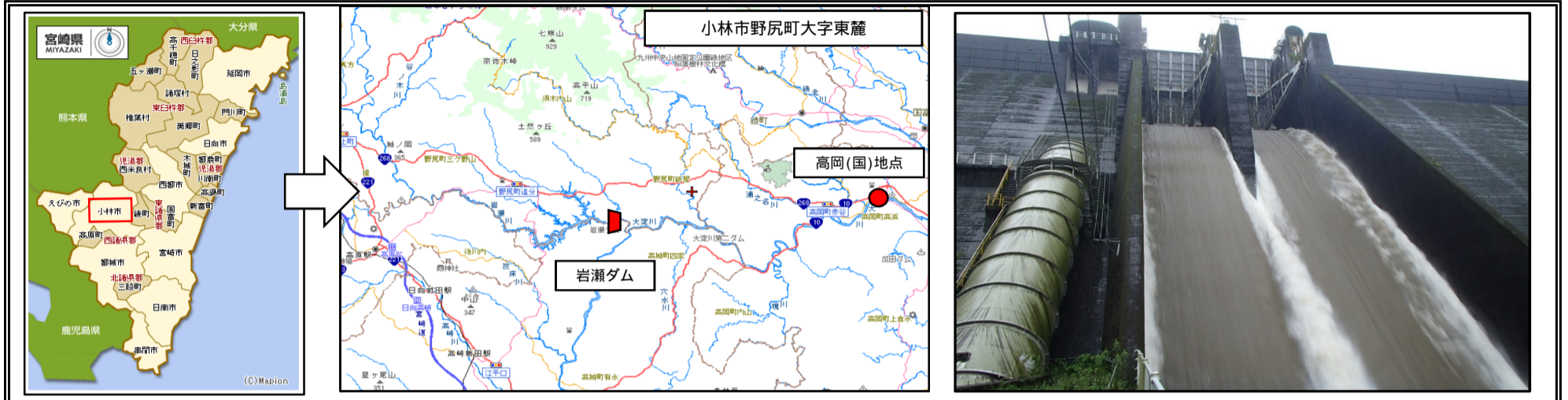


岩瀬ダム防災操作速報

令和1年7月18日

令和元年6月30日～7月4日の梅雨前線の影響による
一級河川 大淀川水系 岩瀬川 岩瀬ダム防災操作の効果について

【 岩瀬ダム位置図 】



【 ダム防災操作概要 】

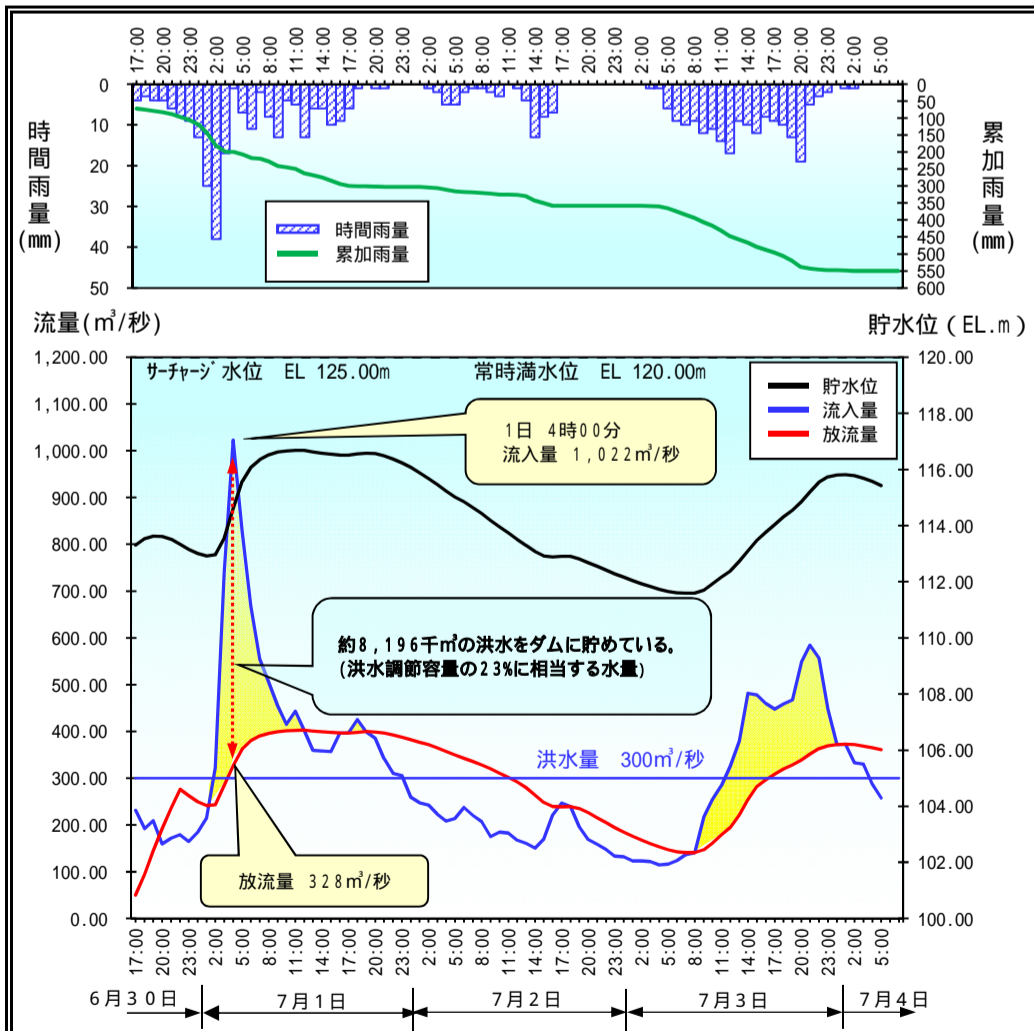
梅雨前線の影響により岩瀬ダムの上流域では、6月29日23時より雨が降り始め、7月1日1時までには流域平均雨量の累計が144ミリに達しました。1日1時56分に流入量が洪水量の300m³/秒に達したため、防災操作を開始しました。

1日4時00分に流入量が最大1,022m³/秒となり、このときダムにおいて694m³/秒を調節（全体では洪水調節容量の23%にあたる8,196千m³の洪水をダムに貯留）することで、ダム下流河川への流量を328m³/秒に減らしました。

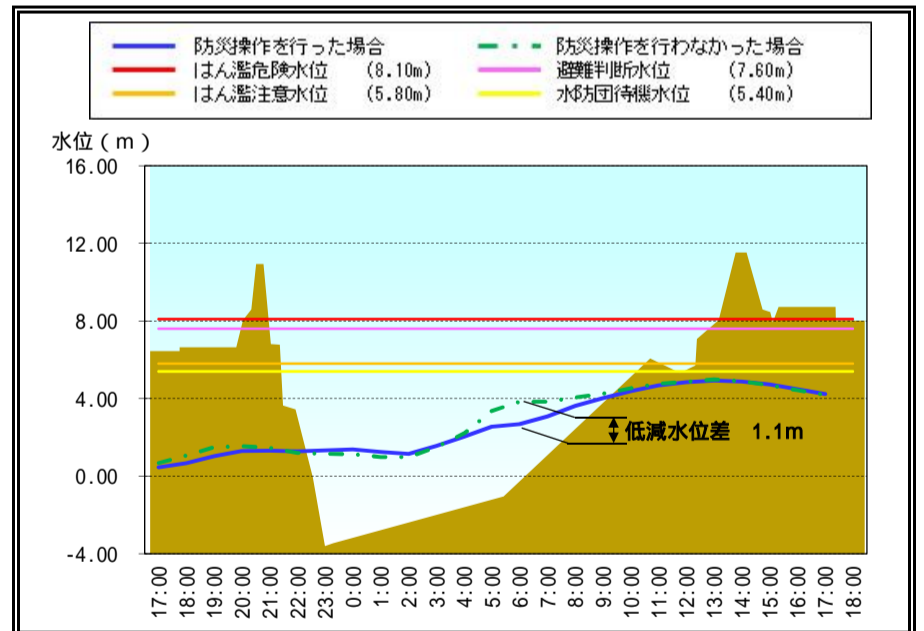
7月4日3時08分には洪水量300m³/秒以下に減少しました。総雨量は、6月29日23時から7月4日2時までには550ミリを観測。

今回の防災操作により、ダム下流の高岡(国)水位観測局において、河川の最高水位を約1.1m（3.8m - 2.7m）に低減させたと推測されます。

【 防災操作実績図（速報値） 】



【 下流防災操作基準地点 高岡(国)水位観測局 河川水位 】



【 岩瀬川流域 出水・浸水状況 】

被害なし

お問い合わせ先

宮崎県 県土整備部

都城土木事務所

岩瀬ダム管理事務所

TEL (0986) 23 - 4512 FAX (0986) 24 - 3755

TEL (0984) 44 - 1137 FAX (0984) 44 - 3261

河川砂防課 ダム担当リーダー 松本 貴史